

## 第2回第10採択地区教科用図書採択協議会 議事録

開催年月日	平成29年7月12日（水）	
開催場所	ふじみ野市・三芳町環境センター「えこらぼ」3F 研修室	
開催時間	14:00 ～ 16:00	
教育委員会	出席者	
富士見市	山口 武士 教育長	小野寺 巧 教育長職務代理者
坂戸市	安齊 敏雄 教育長	小川 一信 教育長職務代理者
鶴ヶ島市	浅子 藤郎 教育長	石澤 良浩 教育長職務代理者
ふじみ野市	朝倉 孝 教育長	富田 信太郎 教育長職務代理者
三芳町	古川 慶子 教育長	松本 薫 教育長職務代理者
毛呂山町	栗田 博 教育長	村本 洋 教育長職務代理者
越生町	吉澤 勝 教育長	浅見 登 教育長職務代理者
	事務局	
	学校教育課長	榎本 崇
	指導主事兼指導係長	清水 篤史
	指導主事	須藤 大二朗
会議 議事録		
第10採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会  1 開 会        2 あいさつ	（司会）ふじみ野市教育委員会学校教育課長 榎本 崇 （出席者）上記  （司会） 皆さん、こんにちは。 本日進行を務めさせていただきます、ふじみ野市教育委員会学校教育課長の榎本 崇でございます。よろしくお願ひいたします。 ただ今より、第10採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会を開催いたします。本日の傍聴者の人数は、10人となっております。なお、本会議は議事録を作成いたしますので、録音をさせていただきますことをあらかじめ御承知おきいただきますようお願い申し上げます。このあとは、着座にて失礼させていただきます。  （司会） はじめに、第10採択地区教科用図書採択協議会 会長 朝倉 孝より、ごあいさつ申し上げます。  （ふじみ野市教育委員会 朝倉 孝 教育長） 皆様、改めましてこんにちは。本日は大変暑い中、また、学期末のご多用中の中、ご出席を賜り、ありがとうございます。	

<p>3 本日の日程と、会議の公開・非公開について</p>	<p>早いもので、本協議会が設置されてから、もう3ヶ月が経ちました。この間、専門員、学校による調査・研究、そして、教科書展示会が行なわれ、多くの方々に教科書を見ていただきました。委員の皆様方におかれましても、それぞれの教育委員会や展示会等で、教科用図書の研究を進めていただいていると存じます。</p> <p>本日は、平成30年度に使用する小学校道徳の教科用図書における専門員の調査研究結果が報告される大変重要な会議でございます。各委員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、慎重かつ円滑に進められますことをお願い申し上げ、あいさついたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(司会) 次に、本日の日程について、事務局よりご説明いたします。</p> <p>(事務局) ふじみ野市教育委員会学校教育課の須藤でございます。お手元の次第をご覧くださいと存じます。</p> <p>この後、朝倉会長に議長をお願いいたします。</p> <p>協議会の日程についてです。専門員長より道徳の教科用図書の研究結果を報告していただきます。進め方につきましては、4つの教科書会社の調査結果を報告したのち、質疑、応答の時間を設定いたします。休憩を挟み、残りの4つの教科書会社の調査結果を報告したのち、質疑、応答の時間を設定します。最後に全体を通して、質疑、応答の時間を設定します。以上でございます。</p> <p>(司会) 本日の進め方につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>(委員) (特になし)</p> <p>(司会) よろしいでしょうか。 ありがとうございます。 それでは、これより、議長を 朝倉 孝 会長をお願いいたします。</p> <p>(議長) それでは、第10採択地区教科用図書採択協議会要綱第7条の規定により、本日の議長を努めさせていただきます。協議が慎重に進められ、適切な選定がなされますよう、ご協力をお願いします。</p> <p>まず、協議に入る前に、本会議において、要綱第11条に基づき、非公開とすべき項目の有無について確認をいたします。</p> <p>(議長) このことについて、事務局より提案はありますか。</p>
-------------------------------	--

(事務局)

第1回採択協議会で会議は全て公開とすると決定しております。したがって、本会議につきまして、非公開とすべき項目はございません。以上でございます。

(議長)

事務局からは特に非公開とすべき項目がないとありましたが、委員の皆さまからは、非公開としたい項目はございますでしょうか。

(委員)

特になし。

(議長)

特になしというご意見をいただきました。

それでは専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑については、非公開とする項目がないということで、協議を続けてまいります。

なお、ガイドラインに基づき、採択期間中の教科書会社による接触は禁止されております。万が一接触を試みる教科書会社があった場合は、事務局までご報告をお願いいたします。もし、そのような行為が報告された場合は、ガイドライン(4)②のとおり「教科書発行者による不適切な行為や公正取引委員会の警告も勘案して、教科書を採択する。」ことといたします。委員の皆様、よろしいでしょうか。

(委員) (特になし)

(議長)

特になしということですので、専門員長、報告をお願いします。

(専門員長)

皆さん、こんにちは。私は、第10採択地区専門員長を務めます、ふじみ野市立駒西小学校、校長の榊原哲也と申します。これより、専門員による調査研究の結果をご報告致します。どうぞよろしくお願い致します。

報告にあたっては、各社の工夫や特色についてご説明いたします。

本日は、6年生の教科書を中心にご説明させていただきますので、お手数ですが、各会社の6年生の教科書をお手元にご準備ください。

始めは、A社についてです。A社の6年生の教科書をご用意ください。

よろしいでしょうか。それでは、ご説明いたします。

A社は、教科書が、「読み物」と「活動」の2冊で構成されています。「読み物」の4ページをお開きください。「読み物」は、巻頭に主題を記載し、学習のねらいを明示しています。また、教材は、実践例が豊富な定番教材と、新たに開発した教材を取り入れています。「活動」の20ページをお開きください。「活動」は、薄い冊子になっているもう1冊の方です。この「活動」は、内容項目のまとめりに教材が記載されており、複数の教材を通して価値を深める工夫がされています。「活動」は、コラ

#### 4 専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑応答について

ムなどの読み物教材だけでなく、自分の考えを書き込む形式となっています。発達段階に応じて書き込む量も配慮しています。特に、低学年においては、書き込みよりも、場面絵を見て話し合う展開を入れるなどの工夫があります。「活動」の最後の52ページをお開きください。ここには、保護者に向け、この教科書が目指すことを記しています。

「読み物」の139ページをお開きください。現代的な課題を「読み物コラム」として、いじめ問題、情報モラル、防災教育、五輪教育などの視点から、全学年に記載しています。特に、生命の大切さについては、「命のかがやき」というコラムとともに、「命の尊さ」を扱った教材を多く取り入れ、「生命尊重」や「いじめ問題」に向き合う心を育てていく工夫がされています。「読み物」の74ページをお開きください。情報モラルについては、具体的な場面に即した教材を取り入れるとともに、発達段階に応じた内容を工夫しています。ここでは、メールのトラブルを取り入れています。81ページをお開きください。コラムでも、発達段階に応じた情報モラルを取り上げています。6年生では、インターネットの利用の仕方について記載しています。また、2年生では、情報モラルの基礎となる、言葉の大切さと伝え方をコラムで取り上げています。「どんな言葉がすてきな言葉なのか」「相手に伝えるときに大切なことは何なのか」などを児童に考えさせています。

「読み物」の118ページをお開きください。A社はスポーツやアニメを基にした教材を取り上げるとともに、多様な画風のイラストや写真を大きく掲載しています。6年生では、被爆二世であるバレリーナ森下洋子さんが、数々の苦難がありながら、平和への祈りをこめて踊り続けた姿を取り上げています。また、2年生では、元プロテニスプレーヤーの松岡修造さんからのメッセージを記載しています。「大変なことでも、後回しにしないでがんばってみよう。大丈夫、君ならきっとできるさ。」と、児童の心に届く工夫がされています。

「活動」の49ページをお開きください。A社は、多面的、多角的な考え方がもてるよう、話し合い活動や役割演技などの様々な活動場面を設定しています。その活動場面がスムーズに展開できるよう、「活動」に、「上手な話し合い」や「人物になって考える」などを記載する工夫が見られます。「活動」の34ページをお開きください。主体的、対話的な学習を促すために、「活動」の中に、「アクティブ」のマークを記し、話し合い活動や体験活動を多く取り入れています。その活動で話し合ったことや、考えたことなどが書き込めるようになっており、授業後に児童自身がふり返ったり、保護者が見たりすることができます。そして、教師が児童の評価を行う際の、資料ともなるよう工夫されています。

以上で説明を終わります。

続けてよろしいでしょうか。

次は、B社についてです。B社の6年生の教科書をご用意ください。

B社も2冊になっております。

よろしいでしょうか。ご説明いたします。

B社は、考え、議論する道徳の時間の基盤となるものとして、「道徳ノート」を別冊として設けています。「道徳ノート」の2ページをお開きく

ださい。この「道徳ノート」は、1教材につき1ページの書き込み欄があり、発問に対する自分の考えを記入するようになっています。また、自分の考えだけでなく、友達のことを書く欄も設けられています。これは、自分の考えと友達の考えを対比させながら、より多面的、多角的な見方や考え方ができるようになることを意図したものです。また、この「道徳ノート」は、児童自身の成長の記録となるとともに、教師にとっても指導や評価の参考になるよう工夫されています。道徳ノートの最後のページをお開きください。「道徳ノート」の巻末には、保護者が記入する欄が設けられており、保護者との連携を図る配慮がなされています。

教科書の6ページをお開きください。B社は、授業の流れが見える工夫を図っています。教材の冒頭に、主題とする価値への方向付けを促す発問を記載しています。右下のイメージキャラクター、ココロウが「佐藤まみさんの姿から、ほこりある生き方について考えましょう。」と児童に投げかけています。その後、教材を読み、主人公の気持ちについて話し合います。9ページをお開きください。末尾にある「尊敬する人のすごいところはどこかな。ほこりのある生き方について考えたことをまとめてみよう。」という発問によって、自分を見つめさせます。この末尾の発問と、先ほどご説明した「道徳ノート」が連動しています。

教科書の14ページをお開きください。B社は、いじめ防止や情報モラルなどの教材を多く扱っています。特に、いじめ防止については、ユニットとして重点的に配置しています。いじめ防止の教材には、児童にとって身近な出来事の直接教材と、物語などの間接教材があり、児童が多面的、多角的に考えられるように構成されています。6年生のユニットでは、まず「本当のことだけど」という教材を活用して、身近な生活の中で起きる友達関係について考えさせています。20ページをお開きください。ここでは、「それじゃ、ダメじゃん」という教材を活用して、自分の良さや伸ばし方について考えさせています。24ページをお開きください。ここでは、「言葉のおくり物」という教材を活用して、男女の協力について考えさせています。29ページをお開きください。この「心のベンチ」では、いじめと法律との関係を取り上げたり、「いじめられる人にも問題がありますか。」と、違う角度から児童に考えさせたりする工夫が見られます。「教材」と「心のベンチ」と「道徳ノート」の3つを活用することにより、考え、議論する道徳の時間が効果的に展開されるよう配慮されています。この「心のベンチ」は、全学年に記載されています。「心のベンチ」では、人間関係作りやソーシャルスキル体験を通して、自分の考えを広げたり、道徳的価値の理解を深めたりできるように工夫されています。

B社は、いじめに関する内容項目を、集中的に、効果的に取り上げていく工夫がなされています。以上で説明を終わります。

次は、C社についてです。C社の6年生の教科書をご用意ください。C社も2冊になっております。

ご説明いたします。C社は、道徳的諸価値についての理解を深めるために、「道徳ノート」を別冊として設けています。「道徳ノート」の始めの目次のページをお開きください。この「道徳ノート」は、学習指導要領の4つの視点ごとに構成されています。2ページをお開きください。この

「道徳ノート」は、教科書の教材と直接連動したものではありません。教材を学習する前や、学習した後に記入させ、より児童の道徳性が高まることを目的にしています。併せて、教科書の36ページをお開きください。教科書の教材と道徳ノートを効果的に活用することができます。例えば、授業の始めに道徳ノートの2ページを読ませ、自由だからこそ気を付けなければならないことを記入させます。そして、教科書の教材を読み、話し合わせます。最後に、道徳ノートの3ページの上段に、授業で感じたことや考えたことを記入させます。授業を行う教師の思いによって、展開の仕方が替えられるようになっています。

道徳ノートの52ページをお開きください。ここからは、様々な視点から記録が残せられるようになっています。このページには、心に残っている授業とその理由を書かせます。56ページをご覧ください。ここには、話し合い活動を記録させます。60ページをお開きください。ここには、体験活動の内容や感じたことなどを書かせます。多くの記録を書かせることで、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深めさせる工夫がされています。また、この記録は、教師にとっても、児童の評価や授業の振り返りに役立つことができます。最後の見開きのページをお開きください。両面になっております。この「心のしおり」では、教材別に学習の自己評価をさせ、自己の成長を振り返ることができるようにしています。

教科書の2ページをお開きください。C社は、巻頭に道徳の授業の学び方を記載しています。児童が問題意識をもって、これからの道徳の時間に取り組めるように工夫しています。

教科書の11ページをお開きください。教材の末尾に、学びの手掛かりとなる「考えよう 話し合おう」を設置し、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるようにしています。

16ページをお開きください。現代的な課題として、情報モラルについての教材を全学年に設置しています。発達段階を考慮したり、特集ページを設けたりするなどの工夫があります。162ページをお開きください。6年生では、特集ページとして、「著作権」を取り上げ、児童の身近な生活と関連付けて考えさせています。

最後に40ページをお開きください。C社は、「生命の尊さ」を重点項目として、各学年に3教材記載しています。身近な家族や動植物の命、実在したスポーツ選手の生き方など、様々な角度から、「生命の尊さ」について考えさせる工夫が見られます。

以上で説明を終わります。

次は、D社についてです。D社の6年生の教科書をご用意ください。

ご説明いたします。23ページをお開きください。D社は、現代的な課題として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点に重点を置いています。その中でも、いじめ問題への対応を最重要テーマに位置付けています。D社は、生活場面を考慮した教材を取り込んでいます。6年生では、「友達だからこそ」という教材で、体験学習の班作りの場面を扱っています。いじめ問題につながる、児童の身の回りに起きがちな場面を取り上げることから、児童の道徳性を高めていく工夫が見られます。また、1年生では、「一緒に帰ろう」という教材で下校の場面での友達関係

を扱っています。またD社は、発達段階に応じて、いじめについて考える視点を決めています。低学年では、力関係による壁をつくらず、いじめの芽をつむことを考えさせています。中学年では、仲間はずれなどの行為の深刻さや、それを見過ごさないことの大切さを考えさせています。高学年では、ネットいじめの問題について考えさせています。段階に応じた配慮がなされています。

40ページをお開きください。道徳性を育成するために、モラルスキルトレーニングや役割演技を随所に取り入れ、体験的な学習を通して、行動化が図れるようにしています。6年生のスキルでは、地震が起きた際の行動の仕方を児童に演じさせています。身の守り方、周りの人への声のかけ方を、体験させます。また、1年生のスキルの教材では、仲直りの仕方を取り上げています。様々な謝り方を体験させた上で、最後に仲直りをする場面も体験させます。日頃はトレーニングしていないことを体験によって学ぶことにより、より児童の道徳性を高める工夫がなされています。

77ページをお開きください。道徳的諸価値についての理解を深めるために、各教材に「学びの手引き」を記載してあります。ここでは、問題解決的な発展や、主体的、対話的で深い学びに対応できる複数の発問から取捨選択できるようになっています。6年生の教材である「六千人の命のビザ」では、6通りの発問を「学びの手引き」に記載しています。授業者の思いや児童の実態に応じた発問が展開できるよう工夫されています。

68ページをお開きください。D社は、豊富な資料を記載しています。偉人については、全学年で50人以上の人物を取り上げています。6年生では、勝海舟と西郷隆盛を取り上げるなどして、先人や偉人の努力や思いについて考えさせています。1年生では、サッカーの澤穂希選手を、5年生では、国民栄誉賞を受賞した長嶋茂雄さんを取り上げています。ここに、人物の生き方をたどりながら、人間の在り方や自分の生き方を深く考えさせる工夫があります。最後に134ページをお開きください。もう1つの豊富な資料は、補充教材です。全学年、巻末に4つ、または5つの教材が記載されています。各学校の児童の実態に応じ、教材を差し替えて活用できるよう配慮されています。

以上で説明を終わります。

(議長)

専門員長、ありがとうございました。

ただ今、専門員長からA社からD社までの説明につきまして、委員の皆様から、御質問はありますでしょうか。

(委員) (特になし)

(議長)

よろしいでしょうか。

それでは、ここで15分の休憩を取りたいと思います。

後半は2時50分より再開いたします。

まずは、傍聴者の方々、退席をお願いします。

それでは、委員の皆様も、2階の控室へお願いします。

<休憩（15分）>

（議長）

それでは、定刻となりましたので、再開いたします。  
専門員長お願いします。

（専門員長）

よろしくお願いします。次は、E社についてです。E社の6年生の教科書をご用意ください。

ご説明いたします。2ページをお開きください。E社は、巻頭にオリエンテーションのページがあり、児童が主体的に学ぶことができるようにしています。4ページをお開きください。道徳の時間が、「問いをもつ」「考える」「話し合う」「まとめる」から構成されていることを、わかりやすく記載しています。8ページをお開きください。教材の冒頭に問題意識をもたせるための問いがあります。また、本文の下段には、物事を多面的、多角的に考えさせる問いを明示し、末尾には、学んだことを日常生活に広げるための提案を示しています。

22ページをお開きください。コラム「みんなでやってみよう」を全学年に設置し、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築に向けて、発達段階に応じたグループワークを提示しています。6年生では、相手の気持ちを考えた言葉の返し方を取り上げています。隣の23ページをご覧ください。ここでは、「宿題を見せて。」と頼むまりと、頼まれたえみの言葉のやりとりがテーマになっています。始めに、互いの気持ちを考えたナイスリターンの言葉を考えさせ、その後、実際に言葉に出して体験をさせます。4年生では、用事があって約束の時間に遅れてしまった男の子と、ずっと待っていた男の子との言葉のやりとりをテーマに取り上げています。このように日常生活の中で起こりがちなテーマを設定する工夫が見られます。

62ページをお開きください。E社は、現代的な課題として、「いじめ問題」「情報モラル」「生命尊重」に重点をおいています。このページでは、インターネットの掲示板に掲載された心無い書き込みを取り上げ、いじめ問題と情報モラルについて考えさせています。情報モラルは、全学年で扱い、正しい行動を行うための基となる考え方や態度について考えられる工夫をしています。

139ページをお開きください。E社は、「生命の尊さ」を重点主題として、各学年に4つずつ教材を配置しています。低学年は生きる喜びをテーマにしています。中学年は、人の命を救うために行動した人々を取り上げています。そして、高学年では、実在の人物の生き方を考えさせています。次のページをお開きください。ここでは、突然の交通事故で我が子を失った鈴木共子さんの取組とメッセージが記載されています。メッセージは次のページに記載されています。次のページをお開きください。ここでは、動物の命を人の命と同じように、懸命に守り続けている坂本尚志さんの活動が記載されています。148ページをお開きください。ここでは、大切な家族を震災で失った高校生、佐々木瑠璃さんの話が記載されていま



す。3つの教材に登場する3人の思いや行動を関連させながら、より深く命の尊さを考えさせる工夫が見られます。

最後の見開きのページをお開きください。この「学びの足あと」では、自分の心の動きや学びを記入することで、授業で学習したことが、生活の場での体験につながるような構成となっています。

以上で説明を終わります。

次は、F社についてです。F社の6年生の教科書をご用意ください。

ご説明いたします。13ページをお開きください。F社は、どの学年にも、2つのユニットを取り入れています。6年生は、スポーツと命のユニットです。スポーツのユニットでは、3つの教材を活用して、生き方について考えさせています。次のページをお開きください。始めは、ソチオリンピックで金メダリストになった羽生結弦選手を取り上げ、荒川静香さんとのエピソードから、感謝について考えさせています。18ページをお開きください。ここでは、世界に柔道を広げるきっかけを作った山下義韶さんを取り上げ、国際理解や国際親善について考えさせています。22ページをお開きください。ここでは、清掃登山を続ける野口健さんを取り上げ、自然愛護について考えさせています。児童の興味関心を引く、スポーツの話題から、生き方についての道徳性を高める工夫が見られます。

27ページをお開きください。F社は、教材の後ろに、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」の4つの学び方のページを設けています。「深めよう」においては、問題解決的な学習の道筋を提示しています。横書きで展開されていて、本文と区別して自分のこととして捉えることができる工夫があります。

次のページをお開きください。F社は、あえて教材のタイトルの前に主題名、いわゆる学習のねらいを記載していません。児童自らが主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視しています。児童の意識を大切にしたい構成に工夫が見られます。

87ページをお開きください。ここに、2つ目のユニットが記載されています。F社は学年によってユニットの内容を変えていますが、「いのちの教育」については最重要テーマとして、全学年に設置しています。次のページをお開きください。ここでは、がんと闘った猿渡瞳さんから、命の大切さを学ばせています。92ページをお開きください。ここでは、恵まれない人々を助けるために生きたマザーテレサさんを取り上げています。

97ページをお開きください。いのちのユニットの中に、学び方のページ「つなげよう」を記載しています。次のページをお開きください。ここでは、ノーベル医学生理学賞を受賞した大村智さんを取り上げ、人々の命を救うことを信念に研究を続けた大村さんの思いを考えさせています。103ページをお開きください。そして、ここでも学び方のページを入れ、最重要テーマである「いのちの教育」を大きなユニットとして構成した工夫が見られます。

110ページをお開きください。F社は、現代的な課題として、情報モラルについても全学年で取り上げています。111ページから112ページをご覧ください。スマートフォンによるメールトラブルが、視覚的に捉えられる工夫がされています。

以上で説明を終わります。

次は、G社についてです。G社の6年生の教科書をご用意します。

ご説明いたします。55ページをお開きください。G社は、現代的な課題として、「いじめ問題」に重点をあてています。すぐに教材に入るのではなく、児童にいじめ問題を投げかけるとびらのページを設けています。次のページをお開きください。ここには、「いじめ問題」に関わる1つ目の教材が記載されています。この教材は、いじめ問題に直接的に関わる話となっています。次に、61ページをお開きください。ここには、いじめ問題に関わる間接的な教材が記載されています。G社は、とびらと直接教材と間接教材を組み合わせた「ユニット形式」をとっています。「いじめ問題」を自分のこととして捉えさせるとともに、相手の立場についても考えさせるなど、集中的に複数時間をかけて学ばせるようになっています。次に、180ページをご覧ください。他の現代的な課題として、情報モラルについて考えることができる教材を全学年に配置しています。知見を得るだけでなく、道徳的実践意欲と態度が養われるように工夫しています。

4ページをお開きください。G社は、流れがわかる仕組で、児童の学習をサポートしています。ここには、導入に役立つオリエンテーションのページを設けています。このオリエンテーションで、児童は、道徳の時間の意義や1時間の学習の流れを把握します。また、教材ごとに、学習のテーマを明示し、児童が見通しをもって学習が進められるようにしています。

5ページの下をご覧ください。G社は、「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成するために、問題解決的な学習を取り入れています。2年生から6年生では、聞くとときと話すときの留意点などを記した「話し合いの約束」を記載しています。また、3年生以上の教材の中には、「問題を見つけて考える」という視点を設け、考えるステップを示しています。79ページをお開きください。ここでは、修学旅行の就寝時のおしゃべりについて考える教材を取り上げています。この学習に考えるステップを取り入れています。まず、児童に、「人に迷惑をかけないように気を付けておしゃべりすることは、自由か自分勝手か。」と問い、どちらかの立場を選択させ、議論をさせます。次のステップは、自由と自分勝手の違いを考えさせます。そして、最後には、自分のこれまでの行動をふり返させます。思考にステップを入れていくことで、児童の道徳性がより高まるよう工夫されています。

18ページをお開きください。ここでは、児童同士のコミュニケーション活動を取り入れています。「出会う、ふれ合う」という学習活動を設け、児童が主体的に考え、対話を通して深い学びができるようにしています。6年生では、「将来の夢を語ろう」と題し、4人グループで話し合いをもつ活動を取り入れています。まずは、自分自身で、「将来、どんな自分になりたいか。そのために、今何をしているのか。」をワークシートに記入します。そのワークシートを他の3人に回し、励ましの言葉を書ってもらいます。児童の主体的、対話的な活動が展開されるよう工夫されています。

最後に183ページをお開きください。巻末に、振り返りのページを設

け、考えたことや学んだことなどが記せるようになっていきます。  
以上で説明を終わります。

次は、H社についてです。H社の6年生の教科書をご用意いたします。

ご説明いたします。6ページをお開きください。H社は、1時間の授業展開がイメージしやすい構成になっています。1時間の授業は、導入、教材、手引きの順に構成されています。この教材の導入では、「君の心に残っている手紙は、どんな手紙かな。」と、右下のイメージキャラクターころんが、内容に関わる問いかけをしています。その後、「まどさんからの手紙」という教材を読み、手引きを活用して考えたり話し合ったりします。14ページをお開きください。手引きには、「考えよう」と「つなげよう」のコーナーがあります。「考えよう」には、児童の道徳性を高める複数の発問が記載されています。教師の思いや児童の実態に応じて、発問を取捨選択して活用できるようになっています。また、「つなげよう」には、「最高学年として、どんなことをがんばりたいと思っている。」といった、行動化を促す投げかけを取り入れています。児童が授業の展開をイメージしやすい工夫が図られています。

70ページをお開きください。H社は、現代的な課題として取り上げている、「いじめ問題」と「情報モラル」が、教材とコラムとを組み合わせた「ユニット形式」になっています。6年生では、「コスモスの花」という教材で友達の存在について考えさせています。75ページをお開きください。ここでは「泣き虫」という教材で、いじめを傍観している側の問題を取り上げています。これらの2つの教材を連続して取り上げた後に、コラムを記載しています。81ページをお開きください。このコラムには、タレントの高橋みなみさんからのメッセージが記載されています。そのメッセージは3者に向けられています。それは「いじめをしているあなた」「いじめをそばで見ているあなた」「いじめられているあなた」です。このメッセージには、より児童の心に迫る工夫が見られます。また、3年生では、「やめられない」という情報モラルに関する教材が記載されています。この教材には、ゲーム機に夢中になり過ぎた児童の姿が映っています。そして、その後のコラムには、ゲーム機やインターネットの使い方を誤った際の様々な弊害を取り上げ、児童が正しい判断や行動ができるよう工夫されています。

92ページをお開きください。H社は、道徳性を育成するために、各学年3か所以上の「学びの記録」を設け、道徳の時間に学んだことを書き留められるようにしてあります。また、学んだことで生活に生かされたことや自分が変わってきたことなども記入させることで、児童自身に自分の成長を実感させ、自尊感情を育ませる工夫が見られます。

152ページをお開きください。H社は、児童の視点に立った教材の工夫を行っています。このスマートフォンを使ったメール問題を取り上げた教材では、文章ではなく、漫画形式の挿絵を用いて、より内容をわかりやすくしています。また、4年生には、「命をつなぐ岬」という教材に、何時間もかけて卵を産むウミガメの写真を掲載しています。大きな写真が感動を呼びます。また、5年生では、プロ野球の大谷翔平選手が実際に書いた、「目標達成シート」を掲載し、児童の道徳的実践意欲を引き出す工夫

が図られています。  
以上で説明を終わります。

(議長)

ありがとうございました。

それでは、専門員長からE社からH社までの説明がありましたが、これらの説明につきまして、御質問はありますでしょうか。

(委員) (特になし)

(議長)

それでは、全体を通してはいかがでしょう。

(委員) (特になし)

(議長)

よろしいでしょうか。

それでは、以上で質疑応答を終わりにいたします。

事務局から、その他の協議事項はありますか。

(事務局)

特にございません。

(議長)

それでは、本日のこの専門員長からの報告に基づきまして、各市町の教育委員会でご検討いただき、次回は選定という運びとなります。各市町で十分ご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、議長の任を解かさせていただきます。慎重なご審議ありがとうございました。

## 5 諸連絡

(司会)

続いて、諸連絡に移ります。事務局よりお願いします。

(事務局)

1点連絡をさせていただきます。

次回の第3回採択協議会につきましては、7月21日(金)、ふじみ野市市民交流プラザ「フクトピア」の1階展示ルームにて実施を予定しております。第3回目は、学校からの調査研究の報告、保護者の意見についての報告、専門員の調査研究についての質疑、応答を行い、第10採択地区教科用図書採択協議会としての選定を行います。よろしくお願いいたします。以上でございます。

## 6 閉会

(司会)

それでは以上を持ちまして、第10採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会を閉会します。長時間の会議、大変お疲れさまでした。

※（議事録中の各教科書会社名は下記とおりです。）

A：学校図書株式会社

B：日本文教出版株式会社

C：廣濟堂あかつき株式会社

D：教育出版株式会社

E：株式会社光文書院

F：株式会社学研教育みらい

G：東京書籍株式会社

H：光村図書出版株式会社